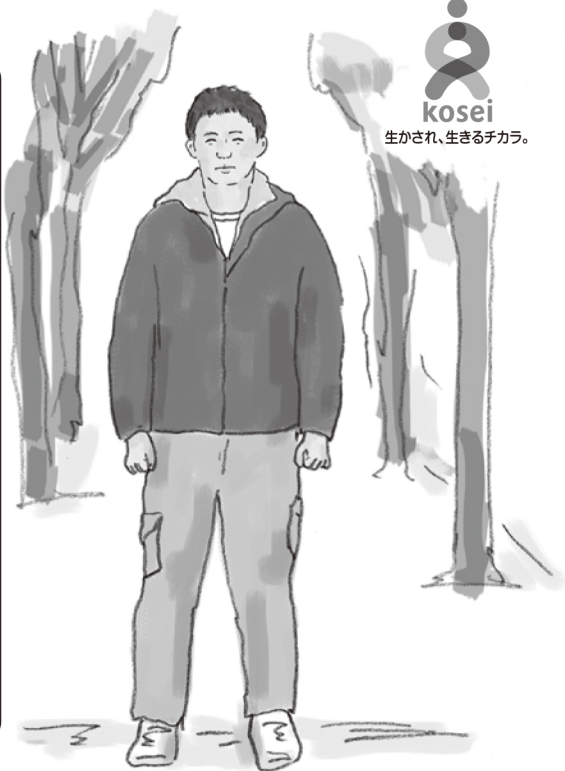


## 夢に向かって進む。 それはたくさんの人のおかげ。

札幌教会 丸山大輝さん

丸山大輝さんは、中学のとき不良だった。教師に反発し、勉強もせず、クラスメートからも距離をおかれていた。ところが、ある先生との出会いが転機となり、先生はじめクラスメートからも頼りにされる存在になっていく。高校受験を迎えたとき、それまで勉強とは無縁だった大輝さんを先生やクラスメートが助けてくれた。この中学時代の体験は、「先生になる」という夢の出発点となる。高校では、学業を頑張ることはもちろん、積極的に学校行事に参加し、クラスメートや後輩の相談に耳を傾けるなど、人とかかわることを大切にしたい。そして、今年の春、札幌市の大学に合格。夢に向かって邁進中だ。大輝さんは、たくさんの人が支えてくれるという自分の中の「宝」に気づいただけではなく、まわりの人へも自分の気づきを伝えて、その人の「宝」を照らすふれあいを重ねてきた。こうした実践は、よりいっそう大輝さん自身を輝かせることにつながっている。



## 自分の「宝」を輝かせる

たとえば、「人よりも貧しいと、不幸でつらい」という価値観があるとします。この価値観はじつに不確かなものですが、仮にそれが自信や希望を失わせる要因の一つだとしても、こうした価値観に基づいて「自分は不幸だ」と決めつけているのは、ほかでもない自分自身です。人生は「縁」によってどのようにも変化し、固定したままで存在するものは何一つとしてないのです。それなのに、自分にそうしたレッテルを貼って苦しみ、自信や希望を失くしてしまつては、授かった命がもつたいたいと思いません。

仏教では、「すべての人が仏の子であり、仏と一体の仏性ぶつしやうそのものです。だから、自信をもってその自分の宝（仏性）を輝かせなさい」さらに、「自らの「宝」に気づいて喜ぶだけではなく、まだそのことを知らない人に気づきをお伝えして、その人の「宝」を照らすふれあいをしていくと、自分の「仏性」がよりいっそう光り輝く」と教えています。

仏の教えを信じ、理解することが「信解しんげ」ですが、人はみな等しく「仏性」という宝をもっていると「信解」し、お互いさま、自信をもって人生を歩んでまいりましょう。

# 立正佼成会